

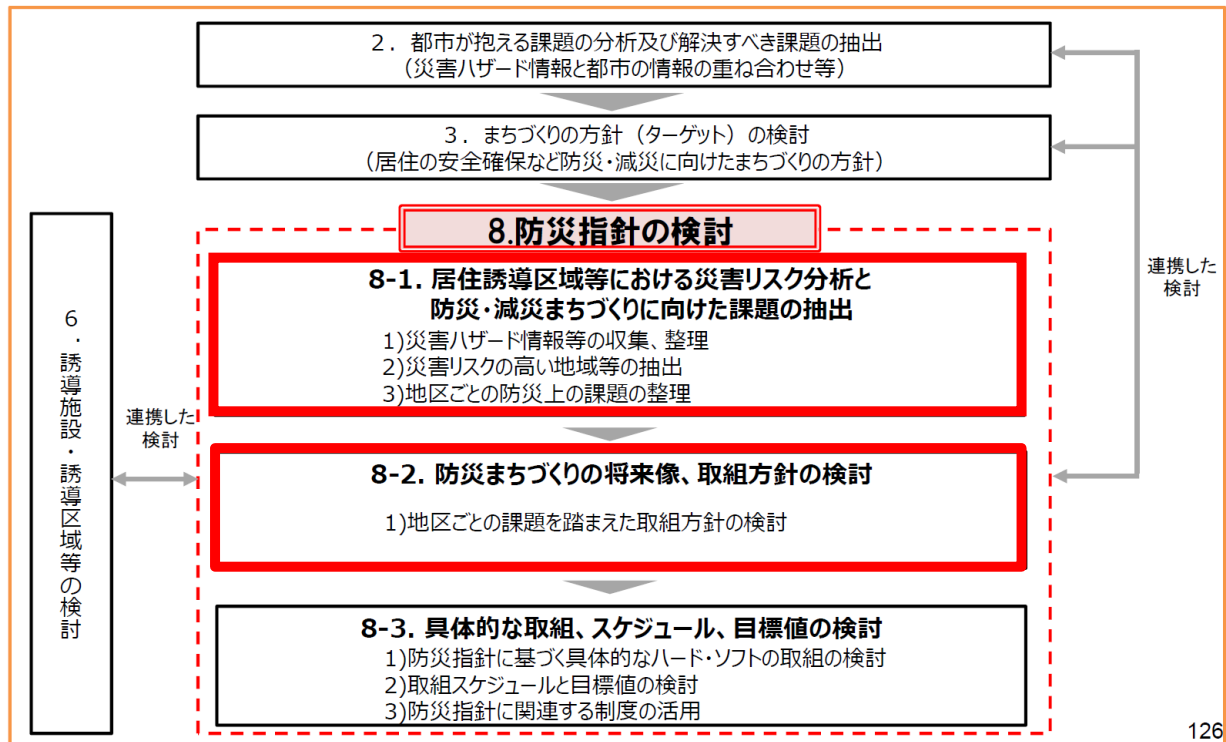
防災指針の検討

防災指針は、居住誘導区域や都市機能誘導区域など誘導施策と合せて、都市の機能を持続させるために災害リスクに対して防災・減災対策を立地適正化計画の一部に定めるものです。

1. 基本的な防災指針の検討フロー

検討のフローは、水害、土砂災害、災害リスクについて分析・課題を抽出した後、課題解決に向けた将来像及び取組方針を示し、関係部署の取組状況や計画に沿って具体的な取組、スケジュールを検討するものとなります。

防災指針検討のフロー



※立地適正化計画の作成の手引きから抜粋

2. 災害リスク種類と課題抽出の視点

災害リスクの種類	課題抽出の視点
① 外水氾濫 ※想定最大・計画規模	浸水深、浸水時間
	家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食・氾濫流）
	避難経路の有無、緊急輸送道路の浸水区間
	要配慮施設の有無
	荒川水系流域治水プロジェクト
② 内水氾濫（履歴分布）	床上、床下浸水の経歴分布
	減災対策状況
	避難経路の有無、緊急輸送道路の浸水区間
③ 土砂災害警戒区域	要配慮施設等の有無
④ 大規模盛土造成区域	区域内+斜面下部方向の施設立地状況、盛土形式の種類
⑤ 火災	不燃領域率 40%未満と住宅密度 30 戸以上のエリアを「改善すべき密集市街地」とする。
	「改善すべき密集市街地」に消火活動・延焼リスクからの避難場所の有無

3. 防災まちづくりの将来像、取組方針

上位計画等（総合計画、地域防災計画、都市計画マスタープラン、国土強靱化計画）における防災に係る考え方を踏まえ、将来像や取組方針を設定します。

■総合計画

将来都市像：絆、自然、文化 元気あふれる『よきふるさと所沢』

- （前期基本計画/防災） ① 地域防災体制の強化 ② 災害時初動体制の構築
③ 災害応急対策の充実 ④ 非常時の体制の強化

■地域防災計画

基本方針にある3つテーマ

- ① 自助、共助の強化
- ② 災害の拡大・二次災害への備え
- ③ 公助の強化（初動対応の重視・防災関係機関相互の協力体制の充実）

水害、土砂災害、火災に係る予防対策

- ① 自助、共助による防災力の向上
- ② 災害に強いまちづくり

■都市計画マスタープラン

街の将来像：自然と調和し 安心して住み続けられる 持続可能で魅力的な街

（防災）安全・安心に生活できる災害に強い街

- ① 災害に強い街づくり（防災性の高い市街地形成の推進、ライフライン・公共公益施設の強化、防災拠点の整備、災害対策ネットワークの強化、避難場所などの整備、オープンスペースの整備）
- ② 地域と協働による防災街づくり（自主防災活動の推進、情報提供、災害弱者支援推進）
- ③ 復旧・復興の街づくり（災害復旧対策、復興事前準備、危険度判定士の養成）

■国土強靱化計画

基本目標

- ① 市民の生命を最大限に守る
- ② 市民の財産及び公共施設の被害をできる限り軽減する
- ③ 地域社会の重要な機能を維持し、生活・経済への影響をできる限り軽減する
- ④ 迅速な復旧・復興を可能とする備えをする

※具体の対応策は「事前に備える目標」毎に記載